



# 私が見たエジプト

1 エジプトといえばピラミッド 2 ナイル川で釣った魚は地元の人とおいしく食べました 3 ストリートチルドレンの支援活動で運動会をお手伝い 4 保育園で初めての絵の具遊びに夢中になる園児たち 5 6 保育セミナーで、現地の保育士に指導して作った毛糸の作品と折り紙の風車 7 バハレイヤ砂漠で夕日にたたずむ 8 給食のある保育園は珍しいエジプト。ユニセフの支援によりこの園では給食が出されていました。この日の主食はエジプト風のラザーニャ「マカロナ・ベシャメル」とまるごとのリンゴとキュウリ 9 エジプトの朝食です。緑色のキュウリから時計回りにチーズとトマトのサラダ、スクランブルエッグ、なすと青唐辛子の煮物、パンに挟んで食べる甘い「ハラフ」 10 エジプトの保育園ではほとんど使わないハサミ。現地の保育士と一緒にハサミやのりの使い方も指導しました。何ができるかな 11 支局職員の子どもと仲良しに 12 支局職員と一緒に巡回した保育園 13 ハサミとのりで上手にチョウチョをつくりました 14 巡回先の保育園で発表会を見学。発表会を行う保育園は珍しく、保護者が見守る中、元気に歌っていました

活動を進めていくことに、知識や行動力のある保育関係者と出会うことができ、現在では少しずつではありますが、その方々が中心となって、保育知識を広めることができ始めています。帰国前には、保育セミナー等の活動と一緒に進めている保育園長から、『自分の受けた教

初めは、現地の保育園の威圧的で、座らせる、読み書きをさせるという遊びのない様子に驚き、保育の中で、子どもたちに少しでも多くの経験ができるように、つたないアラビア語で地道に保育士らに伝える日々を送りました。主な活動内容は、実際の保育現場で保育士らと共に歌や廃材を使ったおもちゃ作り、絵本の製作などで遊びの時間を持ち、新しい保育知識・技術の導入を図りました。また、バンハ市の職員らと共に、地域の保育関係者らを対象にした定期的な保育セミナーも開催しました。しかし、保育内容だけでは、指導内容が子どもたちまで伝わることは難しいだろうと感じ、結果の見えにくい活動に不安になることも多くありました。



エジプトでよく見られる保育の光景。廊下で何もせず座らされる子どもたち

## 日本で学んだ経験の種が異国の地で芽吹き始めている

は子どもに限らず、家に帰ると昼寝(16時前後から2時間程度)をする人が多いです。暑い国ならではの習慣なのでしょう。特に、イスラム教徒は、8月から9月のラマダン(1カ月間の断食中は日の出4時前後から日の入り(18時前後)まで水や食事を一切取らないので、夜になると多くの人で町が活気づきます。私も挑戦してみました。1日で断念しました。

## 人と人のつながりの大切さ

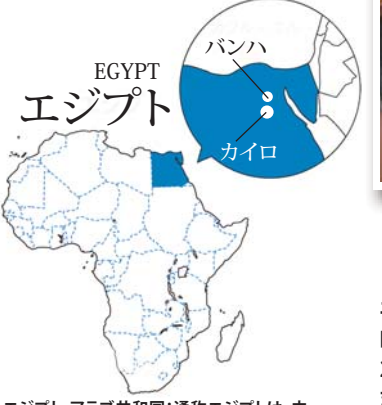
約2年半のボランティア活動の中で、生活は決して豊かではないけれど、おせっかいなくらいに優しいエジプト人にたくさん出会いました。交通量の多い道を一緒に渡ってくれる、分かりやすいアラビア語で話してくれる、道に迷っていると声をかけてくれる...遠い異国だと思っていた国をこんなに身近に思えるようになったのは、やはりそこでの人とのつながりだと思えます。これからも今までの出会いに感謝し、相手とのつながりを大切にできる人でありたいと思います。

## 世界に目を向けたきっかけはポスター

高校生の時にどこかで目にした協力隊募集ポスターの子どもの写真が印象的で、強く思っていたの1つになっていました。また、野市町で4年間、保育現場に勤務し、子どもたちと関わっている内に、そこで学んだ『遊びを通して学び』についての知識や、技術を開発途上国に伝え、子どもたちの笑顔に出会いたい!という強い思いへと変わっていききました。単に、新しい場所・新しい人たちの中に飛び込んでみたいという好奇心もあったように思います。しかし、基本的にはインドアな私。今まで海外に行った経験は、台湾旅行のみということもあって、合格した時は『異国で2年間も生活できるのか!』と不安でいっぱいでした。そしてそんな私の行動に、もちろん驚いた家族ですが、心配

## 赴任して気づいた生活習慣の違い

気候や文化が異なるのは当たり前!と思っていたのですが、改めて生活リズムが全く違うということに驚きました。10時に朝食、16時に昼食、22時に夕食、そのため子どもたちは22時、23時まで起きています。また、家族全員で取る食事を大切にしており、公的機関のほとんどが15時に仕事を終えます。現地知り合った家族の屋敷によく誘われましたが、家族揃ってのんびりと過ごす時間は、日本でも見習いたいです。私がよく通った保育園の子どもたちは、8時に登園、持参したお弁当を9時半と12時に食べていました。夜は23時頃まで起きていたのに朝は日本と変わらないと見思いますが、エジプトで



エジプト・アラブ共和国:通称エジプトは、中東・アフリカの国。首都はカイロ。アフリカ北東隅に位置し、国土の90%が砂漠。夏の気候は40度を超え、降雨はわずか。公用語はアラビア語で、宗教はイスラム教が約85%。日本との時差は、-7時間

## 青年海外協力隊 体験記



岩崎 万里さん (28歳・野市町)

平成17年から4年間、野市町の保育現場に勤務。平成21年6月から平成23年12月まで、青年海外協力隊(幼児教育)としてエジプトで活動。現在、保育士として県内で勤務している。

青年海外協力隊 募集しています 5月14日まで

JICAは、約100カ所にのぼる海外拠点を窓口として、世界150以上の国と地域で、開発途上国が抱える課題解決を支援しています。

また、青年海外協力隊派遣などのボランティア事業をはじめ、海外で大規模な災害が発生した場合、被災国政府や国際機関の要請に応じて、日本政府の決定のもと国際緊急援助隊の派遣や、JICA基金による寄附金の運営や開発教育(国際理解教育)支援を実施しています。日本の市民の皆様をはじめ、NGO、企業、大学、自治体などの協力のもと、開発途上国での幅広い活動を行っており、国内においても、全国15カ所に拠点をおき、地域の特性を生かした、国際協力事業を展開しています。

JICA高知では、途上国理解を深める出前講座をご用意しています。学校や地域でご活用ください。詳しくはホームページで!

■問い合わせ ☎088-875-0022 山内まで  
URL: <http://www.jica.go.jp/>